



えびな 地域福祉プラン 2025

(海老名市地域福祉計画)

2025年度(令和7年度)~2029年度(令和11年度)



はじめに

現代社会は全国的に急激な少子高齢化が進展し、深刻化する孤独孤立などの福祉課題への取り組みが、今回の計画改定を行う背景となっています。

私たち海老名市も例外ではありません。

駅周辺の市街地開発が進行し、人口が14万人を突破するなど、市の発展を遂げていますが、人口増に伴い、地域コミュニティの維持や地域福祉の担い手の確保といった課題も増大しています。

そこで、人づくり、地域づくり、仕組づくりを基本目標とし、地域共生社会の実現を目指してまいります。

今日的な福祉課題に対応するためのこれら三つの柱は、私たちが考える地域福祉の理想形を具現化するための重要な要素です。

また、今回の改定で新たに、成年後見制度の利用促進計画と、さらなる再犯防止策を取り入れ、「えびな地域福祉プラン2025」としました。

これらの取り組みが、より良い地域福祉を実現し、市民のみなさま一人ひとりが安心して生活できる環境を整えることに繋がることを確信しています。

最後に、今回の改定にあたってアンケートにご協力いただいた市民の皆様、策定委員会の皆様に深く感謝申し上げます。

皆様のご意見とご提案は、より良い福祉計画を実現するための貴重な意見となりました。

これからも皆様の理解と協力を賜りつつ、海老名市が目指す「地域共生社会」に向けた取り組みを進めて参ります。

より良い地域福祉の実現のために、引き続きのご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。



2025年(令和7年) 3月

海老名市長 内野 優

目 次

第1章 えびな地域福祉プラン2025の策定

1 計画の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	3
4 計画の圏域設定	3
5 計画とSDGs	4

第2章 えびなの地域福祉が目指す姿

1 現状と課題	5
2 計画の目指す姿	7
3 計画の施策体系	8

第3章 プランの展開

基本目標1 地域を支える人づくり	9
基本目標2 安心して暮らしやすい地域づくり	11
基本目標3 包括的な支援の仕組づくり	14
基本目標4 意思決定を尊重する基盤づくり	18
「海老名市成年後見制度利用促進基本計画2025」	
基本目標5 誰一人取り残さないまちづくり	27
「海老名市再犯防止基本計画2025」	

第4章 プランの推進

1 推進体制	30
2 進行管理	31

資料編

1 統計から見るえびな	32
2 アンケートから見るえびな	37
3 えびなの中規模圏域別の現状	44
4 前計画（令和2年度～令和6年度）の総括	51
5 策定方法・策定経過	62
「海老名市地域福祉計画策定委員会設置要綱」	64
「海老名市地域福祉計画策定委員会委員名簿」	65
6 用語	66
7 関連計画インデックス	68
8 関係法令（抜粋）	70